

都道府県対抗駅伝 愛知県代表選手選考について

都道府県対抗駅伝で好成績を残せるように、以下に示す要領により行う。

1 一般男女

5000m・10000mの実績と、実業団・大学駅伝の結果を参考にする。

2 高校男女

(1) 国民スポーツ大会の実績、愛知県高校駅伝、高校総体、高校新人、駅伝強化長距離競技会の結果を踏まえ、総合的に選考する。

(2) 選考の日程上、トラック等の記録は第2回駅伝強化長距離競技会（11月9日）までを参考にする。

(3) 以下の大会のいずれか1つ以上に出場することを選手選考の必須条件とする。

(ア) 駅伝強化豊川長距離競技会（9月16日 豊川）

(イ) 第1回駅伝強化長距離競技会（10月5日 美浜）

(ウ) 第2回駅伝強化長距離競技会（11月9日 瑞穂北）

3 中学男女

(1) 以下の大会のいずれか1つ以上に出場することを選手選考の必須条件とする。

(ア) 駅伝強化豊川長距離競技会（9月16日 豊川）

(イ) 第1回駅伝強化長距離競技会（10月5日 美浜）

(ウ) 第2回駅伝強化長距離競技会（11月9日 瑞穂北）

(エ) 第3回駅伝強化長距離競技会（11月16日 瑞穂北）

(2) 第3回駅伝強化長距離競技会(11月16日)に「選考レース」を行い、その結果で選手を選考する。選考レース出場条件は、令和6年1月1日から大会申込時まで、3000mの公認自己記録が【男子9分30秒00、女子10分40秒00】を上回る上位20名までとする。条件にあてはまる大会出場者を同一組として選考レースとする。

※駅伝強化豊川長距離競技会、第1回～第3回駅伝強化長距離競技会の4競技会内で選考レースの記録を上回った場合も選考の対象とする。

(3) 令和6年1月1日から第3回駅伝強化長距離競技会申込時まで、3000mの公認自己記録で【男子8分40秒00、女子9分45秒00】を突破したものは、『シード選手』として選考レースを経ずに選手として選考される場合がある。

※この場合も(1)を満たすこと。満たしていない選手はシード選手には選考しない。

※シード選手が4名以上いた場合は、第3回駅伝強化長距離競技会(11月16日)の選考レースに出場して選考する。その場合、選考レースに出場しない選手の立場は保障しない。